

日付：2025年 8月 27日（水）／大安

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	NISA、全世代に対象拡大へ 金融庁、税制改正要望概要が判明他について	日経9 共同通信 投資・積み立て	- 金融庁が検討する2026年度の税制改正要望の概要が26日判明した。少額投資非課税制度(NISA)の対象を高齢者や子どもを含めた全世代に拡大する。「貯蓄から投資へ」の流れを加速し、家計の資産形成につなげる狙い。 - 現行では18歳未満はつみたて投資枠の利用ができないが、年齢制限撤廃により未成年でも継続的な買付や売却による現金化が可能となる。高齢者向けには毎月分配型投資信託などを非課税枠の対象に含め、生活資金を得ながら投資できる仕組みを検討する。 「貯蓄から投資へ」の流れを一層加速させ家計の資産形成を促進する狙いである。またビットコインなど暗号資産の売買益課税についても現行の総合課税から見直しを行う方針である。	- 投資や積み立ての話題 - 積み立てのポートフォリオの確認(とくにNISA)から、リバランスへのアドバイス - お客さまの志向に応じた低リスク商品や、外貨建て商品を訴求
2	氷河期世代支援に交付金 内閣府、来年度について	日経5 創客・ライフ	- 就職氷河期世代※の就業やリスキング(学び直し)の支援拡充に向け、政府は地方自治体の取り組みを加速させるための交付金を創設する。 - 内閣府は各自治体の取り組みを後押しするための「地域就職氷河期世代等支援加速化交付金(仮称)」を26年度に新たに設ける。同様の交付金は20～24年度にもあり、25年度は孤独・孤立対策に関する交付金に統合していた。26年度は氷河期世代への支援を明確にする。※氷河期世代とは、一般的に1970年4月2日～1985年4月1日生まれ	- 左記対象年齢の話題として - 世帯情報の再収集・最新化 - 世帯を通じた保障・補償の最新化・最適化を訴求
3	金利上昇→解約時の返戻金減少、リスク込み保険の販売額2倍に について	日経9 投資・積み立て	- 生保各社は金利上昇時の大量解約リスクに備え、市場価格調整機能(MVA)付き円建て保険の販売を拡大。6月の販売額は前年同月比2倍で、外貨建て保険と同水準に達した。 - 例えば1000万円の一時払い保険で5年後に金利が1%上昇すれば返戻金は約90万円減少する。利回りは商品によって10%近く高まる場合もあるが、金利上昇局面では元本割れの可能性があり、契約者への丁寧な説明が不可欠である。	- 投資や積み立ての話題 - 積み立てのポートフォリオの確認(とくに円貨建て保険)から、リバランスへのアドバイス
4	第一生命・丸紅、500億円不動産ファンド について	日経9 生命保険・ニュース	- 第一生命HDと丸紅は2026年3月期中に500億円規模の不動産ファンドを設立する。 30年までに総額4000億円を目指し、住宅・物流・ホテルに加えデータセンターへも投資する。資金は約6割を金融機関借入で賄い、40件の案件を抱える。傘下7社の再編も視野に純利益200億円を中長期で狙う。	- 保険会社の話題として活用 - 自社の健全性や他社との違い、優位性等を説明等

市況情報※

日経平均/前日比	42,394.40/ ▲413.42	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.500%
TOPIX	3,071.99/ ▲33.50	国債(5年)/前日差	1.160%/ 0.005
ダウ平均	45,418.07/ 135.60	国債(10年)	1.620%/ 0.005
上海総合指数	3,868.38/ ▲15.18	米国債(10年)	4.264%/ ▲0.011
ドル円	147.68-70 35銭安	中国国債(10年)	1.756%/ ▲0.008

今日は何の日 ・「男はつらいよ」の日⇒

1969年のこの日、山田洋次監督・渥美清主演の映画『男はつらいよ』シリーズの第1作が公開された。「フーテンの寅」が最初に登場したのはテレビドラマで、この時は最終回で寅さんは死亡した。しかし、あまりの反響の大きいため映画で復活し、以来48作にも及ぶ世界最長の長編シリーズとなった。

誕生日うらない 本日生まれの方の特徴：寛大な心と優しさを持ち安心させるタイプ

長所
・計画性がある
・社交的
・想像力が豊か

短所
・優柔不断
・飽きやすい
・極度の方向音痴

誕生花：ムクゲ
花言葉：信念・新しい美・デリケートな愛・尊敬

誕生日
カラー
緑色

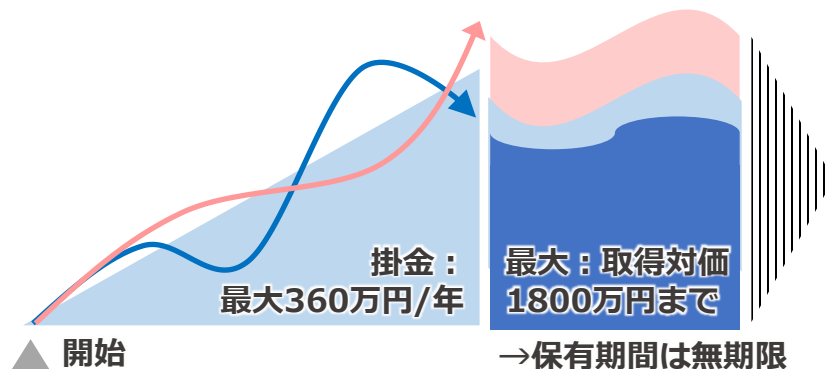


詳細はこちら

本日の深掘りウォッチ：新NISAとは！？ポイントと留意点

NISA（少額投資非課税制度）とは、株式や投資信託の配当金や分配金、値上がりで得られた売却益が非課税になる、個人の資産形成を応援する制度です。2024年から新NISAに生まれかわり、より利便性や優位性が向上するに至りました。

1. 積み立てのイメージと商品の特徴



① 自分で掛け金額を拠出します

- 自分で掛け金額を拠出して運用します（100円から最大360万円/年、計1,800万円）。

② 自分で商品を決めて運用

- 自分で選んだ運用商品（上場株式や投資信託等）で掛金を運用します。よって、選択した商品によって、元本を下回る場合があります。

ポイント

① 投資から得た利益が非課税

- 株式や投資信託の配当金や分配金、値上がりで得られた売却益が非課税となります。

② 運用期間（保有期間）が無制限、に選択できます

- 保有期間に制限が無い為、長期資産形成は勿論、短期間で引き出しも可能です。

2. 留意点

① 自分で金融機関を選び、商品を選択し、自身で手続きをする必要がある

- どの金融機関を窓口とするか、から商品選択、手続きまで基本的にすべてを自己完結する必要。

② 金融機関によって運用商品が異なり、①が認定した商品に限定されている。

- 運用管理機関によって、用意されている商品のラインナップが異なります。
- ネット系証券会社等だと上場株式の取り扱いがありますが、大手銀行では投資信託に限られる等。
- また、2023年までの一般NISAでは選択できた「信託期間20年未満の投資信託」や、「毎月分配型の投資信託」、「高レバレッジ型の投資信託」等は、新NISAでは選択できなくなりました。

③ 投資信託商品は、資産残高に対し手数料（信託報酬）がかかります

- 投資信託を選択された場合、信託報酬はもちろん、信託財産留保額がかかる商品もあります。

④ 運用結果によっては、積立額が元本を下回る可能性があります

- 商品によりますが、主に投資信託を活用するケースが多いためリスクがあります。

⑤ ②や損失の繰越控除ができない

- 特定口座や一般口座との損益通算（利益と損失の相殺）ができません。

⑥ NISA口座は1人1口座のみ

- 運用したい商品が無い等で、口座を変更する場合1年単位で変更が可能です。ただし、運用中の商品を、変更した金融機関のNISA口座に移管することはできません。
- 既に商品を購入している場合は年内での変更はできず、翌年以降の変更にになります。

⑦ 対象年齢が18歳から

- お子さまの積み立てや、相続対策等の活用はできない。

⑧ 掛金は最大360万円/年、1,800万円/累計が上限

- 大口の資産運用としては制限がある。

⑨ 現行NISAから新NISAへのロールオーバーはできない

- 新NISA口座は、従来のNISA口座とは別枠の扱いとなるため、新NISA口座への移管は不可能となります。よって、お客さまは、「非課税期間中に売却する」、もしくは「非課税期間終了後に課税口座へ払い出す」といった選択が必要になります。
- ついては、時期と市場のタイミングによってに不利益を生じる可能性があります。

⑩ 商品によっては、為替リスクや信用リスク（国）等を含む

- 外国の株式や債券で運用する投資信託には基本的に、為替変動リスクがあります。